



平和 茶碗の図
人間国宝 荒川豊蔵氏描
多治見西 RC 創立 10 周年記念誌より
右写真 虎溪山開山堂



第 47 期会長テーマ
みんなでつくる奉仕の心

例会日 毎週木曜日
事務局 多治見市新町 1-23
産業文化センター 4F
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
E-mail n-rc@joy.ocn.ne.jp
HP <http://tajiminishi.jimdo.com/>
会長 各務和宏 幹事 山田正史

第 2273 例会 2013 年 3 月 7 日 (木)

3 月は識字率向上月間

本日のプログラム

点 鐘

国歌斉唱 君が代
ロータリーソング 奉仕の理想
四つのテスト


会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

理事会報告

幹事報告



卓 話 米山奨学委員会担当
各務成喜君

点 鐘

- ・多治見少年少女合唱団友の会会費の協賛
- ・中津川 RC より
創立 55 周年記念式典・祝賀会の案内
平成 25 年 4 月 20 日 (土) 午後 4 時
パーティールプラス フレスカ

他クラブ例会変更のお知らせ

瑞浪 RC → 3 月 8 日 (金)
とよたビジネスフェアに移動例会

先週の記録

- ◆ 出席報告 会員数 37 名 出席義務者 32 名
免除者 5 名 内出席者なし

出席者	欠席者	出席率
25 名	7 名	78.12%

◆ スマイル報告

投函者 13 名 金額 23,000 円

2 月の合計 90,000 円 2 月末現在 708,000 円

- ・ 長男の結婚祝い有難うございました。
古田徳夫
- ・ 結婚記念日のお花、有難うございました。
山口寛

着信書類

- ・ 第 2630 地区ローターアクト 2012~13 年度「第 35 回ローターアクト地区年次大会」Pride 繋げよう心の輪」仮登録の案内

苗栗扶輪社表敬訪問第 2 回目説明会

7 日 (木) 例会終了後 例会場
東鉄観光西尾さんからの最終説明です

各務会長挨拶 NO. 12

3月に入り春らしい日が多くなってきましたが、まだ肌寒い日もありますのでお体に気をつけてください。先日会員増強セミナーに参加したおりましたことをお伝えしたいと思います。現在のロータリークラブは仲良しクラブで、クラブ自体が成熟しており新しいことに取り組む力が少なく、対外的な活動があまりなされていない状況であるとたくさんの方が感じているのではないかと思います。そこで地区の役割として各ロータリークラブに色々な活動の事例を示していただき、これからの活動が活発になるように誘導して頂けるような体制でのぞんでいただけるとよろしいのではないかと感じました。これからも地区と各ロータリークラブの関係をより親密にできるようなわがクラブでは努力していく所存です。

3月の例会行事

7日	卓話 米山委員会担当 各務成喜君
14日	卓話 直前会長担当 中村郁子様「思いがけない健康法」
18日(月)	3市6RC合同例会 場所：セラトピア土岐 受付 午後4時30分
21日	振替休会
28日	お祝い例会

7日(木) 第48期クラブアッセンブリー

場所：松正 時間：午後6時

出席者：伊藤義弘 山田正史 齋藤明
加藤真左子 各務和宏 加知康之
古田徳夫 篠田博文 山口寛
各務成喜 山下智久 服部賢治
関谷泰久 大澤大二 大岩順子

16日(土) 会長エレクトセミナー

場所：桑名シティホテル 点鐘：10:30

16日(土) 多治見市軟式野球連盟

少年部・学童部開会式

場所：笠原梅平運動広場 8:30～

23日(土)～26日(火)

台湾苗栗扶輪社表敬訪問と

ベトナム・ハノイ研修旅行

28日(木) 多治見RAC 花見例会

場所：虎溪山永保寺

時間：20:00～21:30(予定)

出席者：委員長(大澤大二)



3市6RC合同親睦例会交通手段について

日時：3月18日(月)

場所：セラトピア土岐



集合時間・場所

・多治見市文化会館 午後4時15分

・産業文化センター 午後4時15分

※自家用車4台で乗り合わせて出発します。

※時間厳守をお願いします。

2月のお祝い

お誕生日



結婚記念日



2月21日 卓話より

多治見の地質 その2 各務成喜

約二千万年頃前には、地球の温暖化により、恵那山の麓までが、海の波に洗われる程に海水の高さが上がり、笠原のお富士山の頂上だけが、小さな島として浮かんでいたようでした。やがて600万年前頃になると、この一帯は隆起して、海は退いて今の伊勢湾の姿に戻りました。そして、小名田、大畑、生田、市之倉などが、沼のような窪み地帯となり雑草に覆われました。地球の温暖化により、この花崗岩地帯が亜熱帯地帯に近い温度になり、花崗岩は蛙目粘土などの陶土層として多量に推積されました。特に、多治見地帯には木節粘土などの陶土層が推積して、東濃、瀬戸地帯が窯業として発展したのは、陶土という天の恵みがあればこそですね。やがて洪積層時代の1万年前頃から水に侵食され多治見の山並みは穏やかな山並みになり、今の多治見の姿になりました。